

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 9

生産性向上補助金でセットパンナ(自動整列機)を導入して、生産性が向上しました！

株式会社菜の花

事業概要:(業種:菓子製造業)

神奈川県小田原市板橋 91-15

代表取締役: 高橋 空也さん

【社長より一言】

創業 114 年を迎えた和菓子製造業社で、直営店を箱根エリアに 5 店舗、小田原エリアに 6 店舗、その他県内に 4 店舗のほか小田原・箱根エリア内のお土産店を中心に卸売りもしています。主力商品の「箱根のお月さま」「月のうさぎ」「小田原うさぎ」等は認知度も高く、幅広い年齢や嗜好のお客様向けに商品を提供しています。



◆導入した設備

◇セットパンナ (自動整列機)



◆生産性向上のねらい

この設備導入により 3 つの効果を期待しています。①慢性的な人手不足の解消のため、一部の生産工程を自動化することで生産ラインを効率化します。②この設備は自動で菓子を整列してくれるので、品質のばらつきが解消され、見た目や食感が安定した品質を提供できることから顧客満足度の向上を目指します。③設備導入により生まれた余力人員を活用し、長期保存可能な「乳菓」等の新製品の開発や販路開拓を進めていきます。

●設備導入前の状況

現状パイ生地を包むための包餡機のオペレーター1名とベルトコンベヤーから出てきたパイ生地をオープン皿に並べ、整列させる作業員1名の合計2名の作業員が必要でした。



○設備導入後の状況

包餡機のオペレーター1名だけで、ベルトコンベヤーから出てきたパイは、セットパンナの導入により、均一に整列してオープン皿に並べてくれることから、整列作業を省力できるとともに処理速度が上がり、生産能力が1.6倍に向上しました。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

申請にあたり、人手不足の課題解決における具体策を記載することに、多くの時間を費やしました。設備導入による効果をどのように数値化すればいいのか、作業効率が上がる指標をどのように示すべきか、生産性を向上させるという補助金の目的に結びつける説明に困難を感じました。

また、売上増加見込の根拠を数値化する作業については、神奈川県よろず支援拠点の診断士の方に相談してもらいました。

箱根は観光客需要が中心であるため、長期保存可能な新商品の必要性を感じていたため、製造ラインの改善は必須事項でした。設備導入により省力化することで、新商品の開発に人員を拡充することができました。

◆補助金を申請してよかった事

設備導入により、製造ラインの処理速度が向上し、生産量が従来の1.6倍に増加しました。製造ラインの柔軟な配置転換により、従業員の満足度の向上にもつながりました。

また、長期保存可能な新商品の「乳菓」の製造が可能となり、新たな販路開拓も実現し、新たな収益の柱が構築できました。

◆最後にひとこと！

作業の自動化や新製品開発の取り組みを通じて、生産性向上だけでなく働く環境の改善にもつながると期待しています。より効率的な作業環境が実現すれば、製品の質やお客様満足度の向上にも寄与できるはずです。これからも、チーム全員で課題に向き合いながら、さらに良い商品をお届けしていきたいです。

